

## 2021 年度実施概要

学校名

竹富町立白浜小学校

採択活動名

海洋教育～ふるさとの海、山、川を知り、今できることを考えよう～

実施単元 ※実施した単元の数に応じて記載してください

単元名	学年	教科
1. 海洋教育オリエンテーション	3～6年	総合
2. 春の遠足～網取集落跡探索～	全学年	遠足
3. 海神祭～白浜の伝統文化を肌で感じて～	地域行事	
4. 海の体験学習	全学年	総合・生活 理科・体育
5. ウミガメ実態調査	全学年	総合・生活
6. 山の体験学習	PTA 行事	
7. ビーチクリーン	全学年	総合・生活
8. 学習発表会（海洋教育実践発表）	3～4年	文化的行事

取り組みの概要

## 1 海洋教育オリエンテーション

- ・海の現状（海洋プラスチックやマイクロプラスチックなどの環境問題、ウミガメ問題）について確認し、昨年学んだことの中から意見を出し合い、その後、白浜地域特有の海の問題を捉えなおした。「私たちにできることは何か？」を考え合い、意見交流を行った。
- ・一年間を通して海洋教育を学ぶことや、見通しを持たせるために大まかな学習計画を立てた。

## 2 春の遠足～網取集落跡探索～

- ・船浮湾遊覧では、ヒルギ(マングローブ)の生態について学ぶことができた。
- ・網取集落跡の探検では、講師の説明のもと、人は自然から恩恵を受けるだけではなく、その恵みから村の文化ができ、また、その文化が自然界への影響を与えるという人と自然の関係性について捉えることができた。そのため、自然とどのように関わっていくことが大切なのか考えるきっかけになり、これからの学習につなげることができた。
- ・ビーチクリーンも行い、散乱しているゴミを見て、昨年度学んだ海洋ゴミのことから、ゴミはどのようにすると減るのか改めて考えることができた。

## 3 海神祭～地域行事～

- ・新型コロナウイルスの影響で規模縮小して実施された。御願ハーリーやのみを行ったが、その目的などを昨年度作られた資料を見て学習していたのでより気持ちの入った海神祭となった。

#### 4 海の体験学習

- ・子どもたちの馴染みのある海で、小さい頃から面倒を見てくれている漁師に白浜の伝統である刺し網漁について学んだり、保護者から魚のさばき方や火起こしの仕方を学んだりすることで、自然の恵みや生命の大切さ、魚を捕ることの難しさ大変さを、身をもって体験できた。
- ・実際に漁を体験したり、漁師の方へインタビューをしたりすることで、現在白浜の海でおこっている環境問題(ウミガメが増えすぎたことでウミシヨウブが食べられ、藻場が減少したことにより捕れる魚の量が激減してきていること)などを知り、今後の学習につなげていた。
- ・網にかかったアバサー(ハリセンボン)の顎の威力や、アバサーの口の中に必ずいる虫などを見せてもらい、漁師ならではの知識でとても印象に残る学びもあった。
- ・とった魚が何なのか、分からないまま体験が終わってしまったため、とれた魚の名前を学ぶ場面を設定するとよかった。

#### 5 ウミガメ実態調査

- ・調査研究に参加させてもらったことで、身近な海で起きているこの問題について理解を深め、子どもたちなりの解決策を模索するきっかけになった。
- ・子どもたちは、アオウミガメが泳ぐ様子や、実際にアオウミガメに食べられて短くなったウミシヨウブなどの海草をシュノーケリングで観察し、網から外したアオウミガメの甲羅や尾の長さを記録することができた。
- ・実態調査体験終了後も、講師(保護者)に週1回学校にきてもらい、調査結果を図やグラフに表す作業を一緒にやってもらうことで、体験で終わるのではなく、この調査がどんなことを知ることにつながるのかきちんと子どもたちが自ら導き出し、今後の学習に繋げることができた。

#### 6 山の体験学習～PTA 主催～

- ・地域の豊かな自然に触れることや、自然・生き物への畏敬の念を育てることを目的に毎年PTA主催で実施している伝統行事。毎年行き先をPTAと学校で相談して決定し、魅力ある体験活動になっている。
- ・今年度は、カンピレーの滝・マリウドウの滝のトレッキングを行った。マリウドウの滝では昼食を食べ、泳いだりして遊んだ。保護者の方の協力を得て、山に自生している植物や生き物の名前などを教えていただきながらトレッキングを行ったので知見を深めるいい機会となった。

#### 7 ビーチクリーン

- ・西表島西部の船浦港にてビーチクリーンを実施。ゴミの量の多さに職員、児童共に驚いた様子だった。その後ペットボトルの国別分別を行い、どの国の排出ゴミが多いのかを調べた。子どもたちの予想通り中国からの漂着ゴミが多かったが、日本のペットボトル確認されたことから、日本人でもゴミを捨てている人がいることも分かった。
- ・西表エコツアーリズム協会の方から、西表のゴミの現状や、ごみを減らすためにできる取り組みの事例として「蜜蝋ラップ」などを紹介していただき、実際に制作まで行った。この講話を通して今一度「私たちにできることは何か？」について考えようとする児童の姿を見る事ができた。

## 8 学習発表会（海洋教育実践発表）

- ・ 3、4 先生「海・動植物と生きよう～海の体験学習・ウミガメ実態調査を通して～」  
地域の漁師やなどへのインタビュー活動から見てきた白浜地域におけるウミガメの問題について、一年を通して調査したことや、そこから感じた子ども達の思いを発表することができた。「昨年度からの学びのつながりと、この一年なにをどのように学んできたのかとてもわかりやすく、地域の問題についてさらに理解を深められる発表だった。」という来場者からの感想もあり、子ども達の学びを地域に還元することができた。



